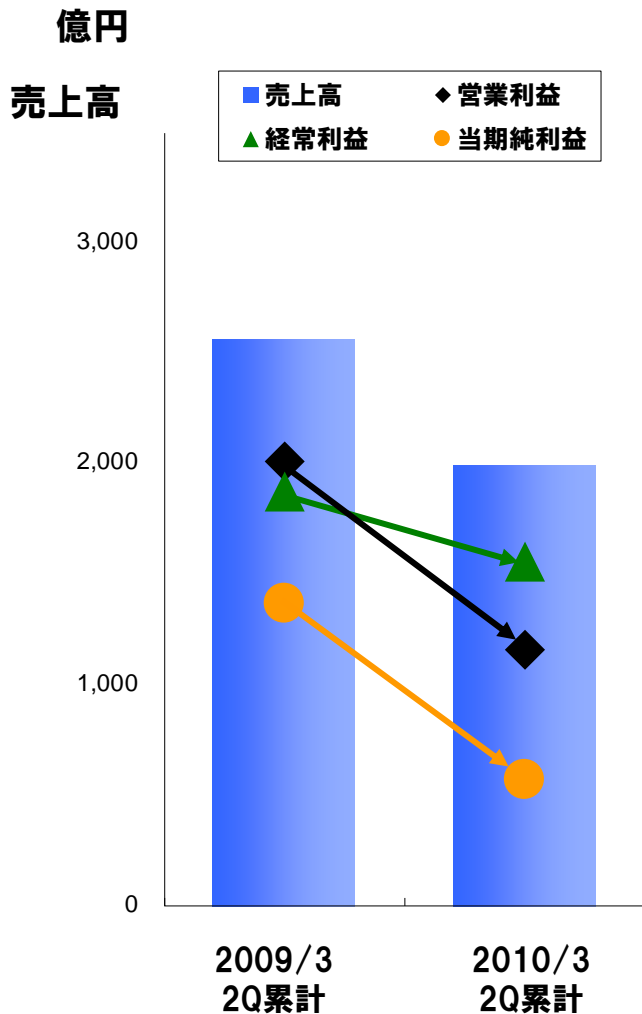


# 2010年3月期 第2四半期決算 説明資料

ブラザー工業株式会社  
2009年11月2日

この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関わるさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。



USD 105.36 95.27  
 EUR 161.56 132.73

( )は為替影響を除いた増減率 単位: 億円

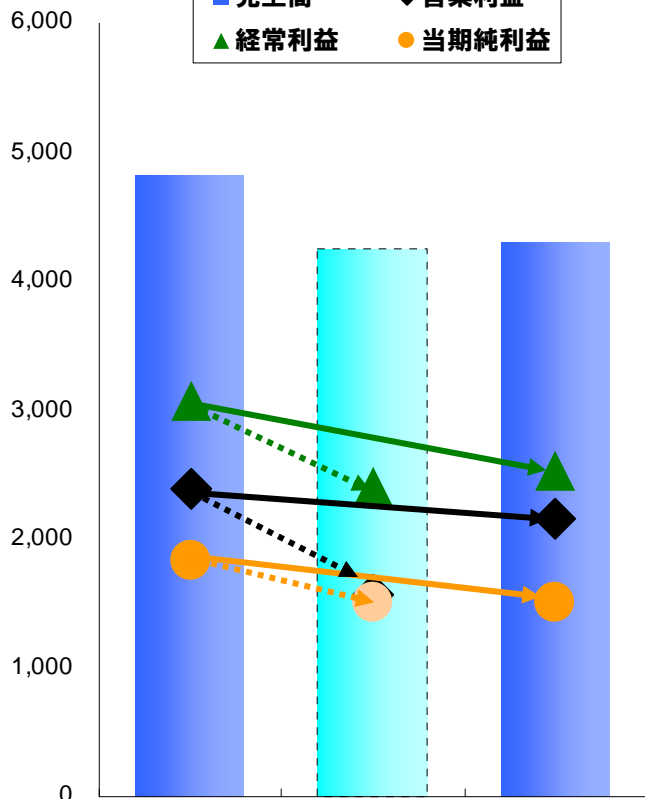
利益	2010年3月期 2Q累計実績	対前年実績増減	
		増減額	増減率
売上高	1,994	△ 572	△22.3% (△10.8%)
営業利益	100	△ 73	△42.2%
経常利益	134	△ 27	△16.8%
純利益	49	△ 68	△58.1%

➤ 大幅な円高・厳しい事業環境の中、あらゆる経費の削減・コストダウンにより100億円の営業利益を確保

➤ 純利益の減少は確定拠出年金への移行による特別損失の前倒しが影響

億円

売上高



USD

EUR

	2009/3 年間	2010/3 前回予想	2010/3 今回予想
USD	100.62	93.00	93.00
EUR	144.43	125.00	132.00

※2Q以降想定 ※3Q以降想定  
90.00 90.00  
120.00 130.00

利益



( )は為替影響を除いた増減率 単位:億円

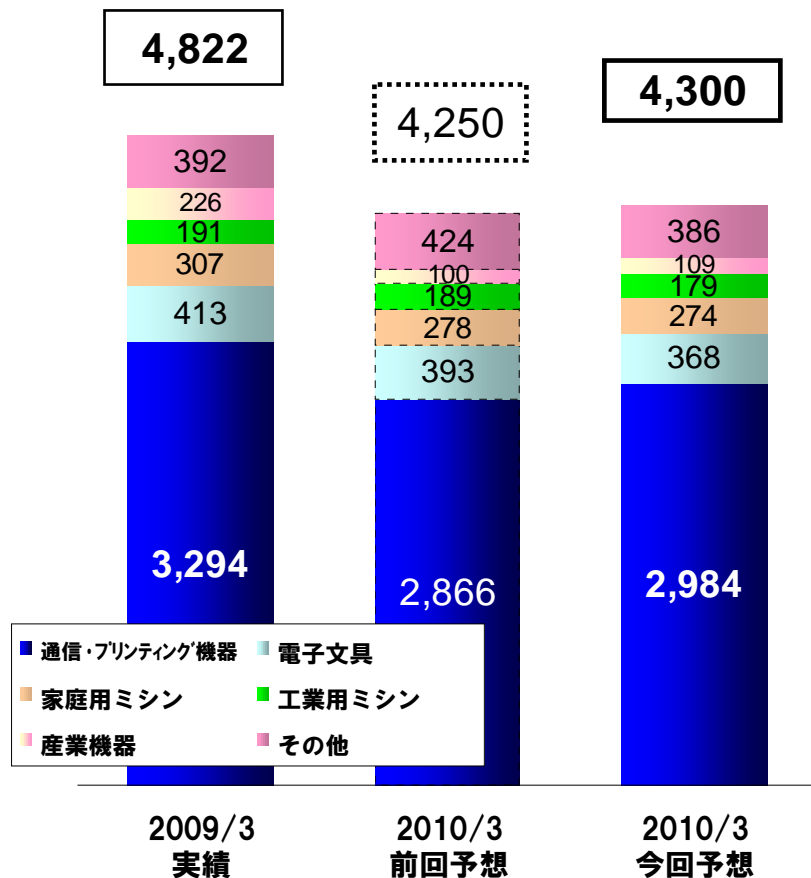
	2010年3月期 通期予想	対前回予想増減		対前年実績増減	
売上高	4,300	+50	1.2%	△ 522	△ 10.8% (△ 4.3%)
営業利益	180	+50	38.5%	△ 19	△ 9.6%
経常利益	210	+10	5.0%	△ 46	△ 17.8%
純利益	125	-	-	△ 28	△ 18.1%

## 対前回予想のポイント

- ユーロによる営業利益へのプラス影響
- プリンティング事業の売上見通しを引下げ
- 経費の削減・コストダウンは予定通りの進捗
- 研究開発費、設備投資をさらに精査

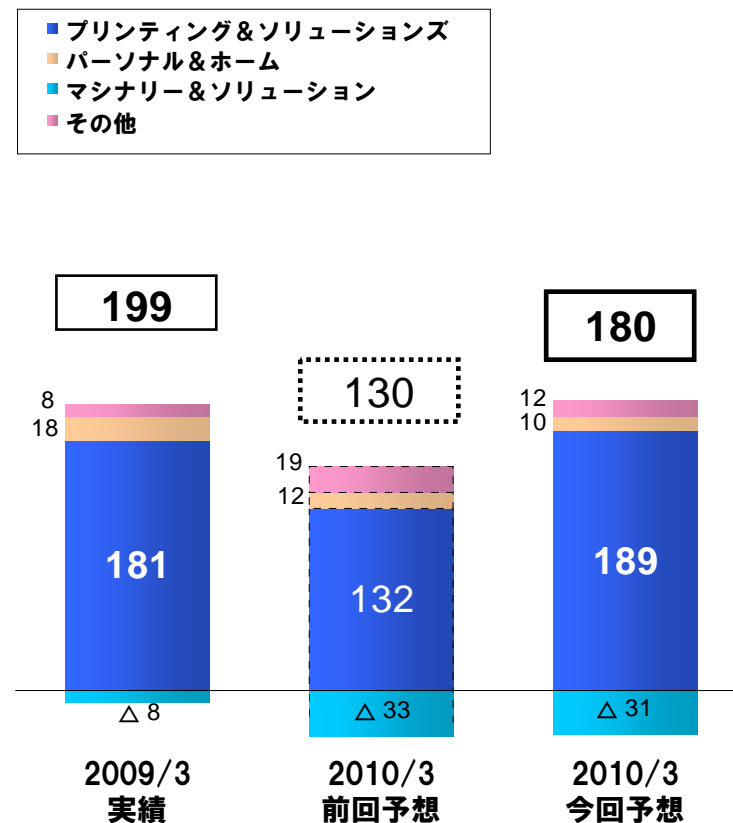
## 売上高

(億円)



## 営業利益

(億円)



## 利益と成長のバランス

### インクジェット事業

- 収益性を重視し、高付加価値モデルやビジネス向けモデルに注力する戦略を着実に実行
- A4インクジェット複合機 ネットワーク機能搭載モデルを拡充  
A3インクジェット複合機 ビジネス向けとして引き続き好評

A4ビジネス系 インクジェット複合機



A3ビジネス系 インクジェット複合機



## 利益と成長のバランス

### レーザー事業

※LED方式を含む

- 厳しい市場環境の中、モノクロレーザーではシェアを拡大し SOHO・SMBでの強いポジションを引き続き維持
- カラープリンタ・複合機の新モデルを市場投入 今秋より順次世界中へ展開

HL-3040CN



HL-3070CW



✓ カラー/モノクロ 17枚/分の高速プリント

※レターサイズでの印字速度

✓ 高性能かつコンパクト 複合機で高さ401mm

使用シーン例

MFC-9010CN



MFC-9120CN



MFC-9320CW



デスクサイド



ワークグループ

## 収益改善への体質強化：

非常に厳しい事業環境が継続する見通しの中、早期の黒字転換を目指す

### 工業用マシン事業・産業機器事業

- **工業用マシン事業：**  
中国は下期に向け回復傾向だが、他地域の低迷が継続
- **産業機器事業：**  
HDD向け・IT産業向けを中心に回復傾向へ
- **より一層の事業体制変革・事業基盤強化に取り組む**

## 事業化への離陸

### ネットワークイメージングデバイス事業

#### ブラザードキュメントビューワ 「SV-100B」

#### 網膜走査ディスプレイ

- 産業用途として販売開始



スマートフォンから図面を転送



「SV-100B」に格納される  
技術資料

- モバイル化を実現した試作機を開発



ネットワーク&コンテンツ事業

XING

「JOYSOUND」カラオケ新モデル「CROSSO」を発売



## ネットワーク&コンテンツ事業

株式会社USENの子会社である  
通信カラオケ大手 株式会社BMBの株式譲渡契約を締結

### ■ 通信カラオケ事業における 収益基盤の確保

- カラオケボックス市場での規模の拡大  
両社の合計シェアで業界1位に拮抗
- 統合による各種コストの削減

### ■ 新規事業であるネットワーク& コンテンツ事業への展開

- カラオケ端末をプラットフォームとし、  
音楽コンテンツを活用した新サービスを展開
- カラオケ端末の増加により  
お客様とのリアルな接点を拡大

### ■ 本株式取得の詳細

- ブラザー工業の子会社であるエクシングが、BMBの全株式を取得
- 株式譲渡期日：平成21年11月中(予定)
- 株式取得価格1円にて取得後、BMBのUSENに対する借入金について、  
BMBとUSEN間の債権債務を清算した後の残額(予定額230億円)をもって当社グループが返済する予定

ネットワーク&コンテンツ事業

エクシングの事業基盤を生かしたN&C事業の拡大

- カラオケ端末増による店舗・顧客との「つながり」拡大
- 顧客増による音楽コンテンツを活用した各種サービスの拡大



顧客・情報  
獲得

Xing

+

BMB

カラオケ端末  
増加による  
インフラ拡大

カラオケ事業の収益基盤の構築と、N&C事業への展開

音楽コンテンツを活用したサービス

- フィットネスクラブ向け  
業務用レッスンシステム「JOYBEAT」



- ジョギング用音楽配信サービス  
「EXERMUSIC」



他 新規サービス

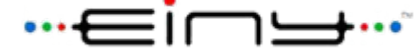
Einyを導入したカラオケ

JOYSOUND カラオケ新モデル「CROSSO」

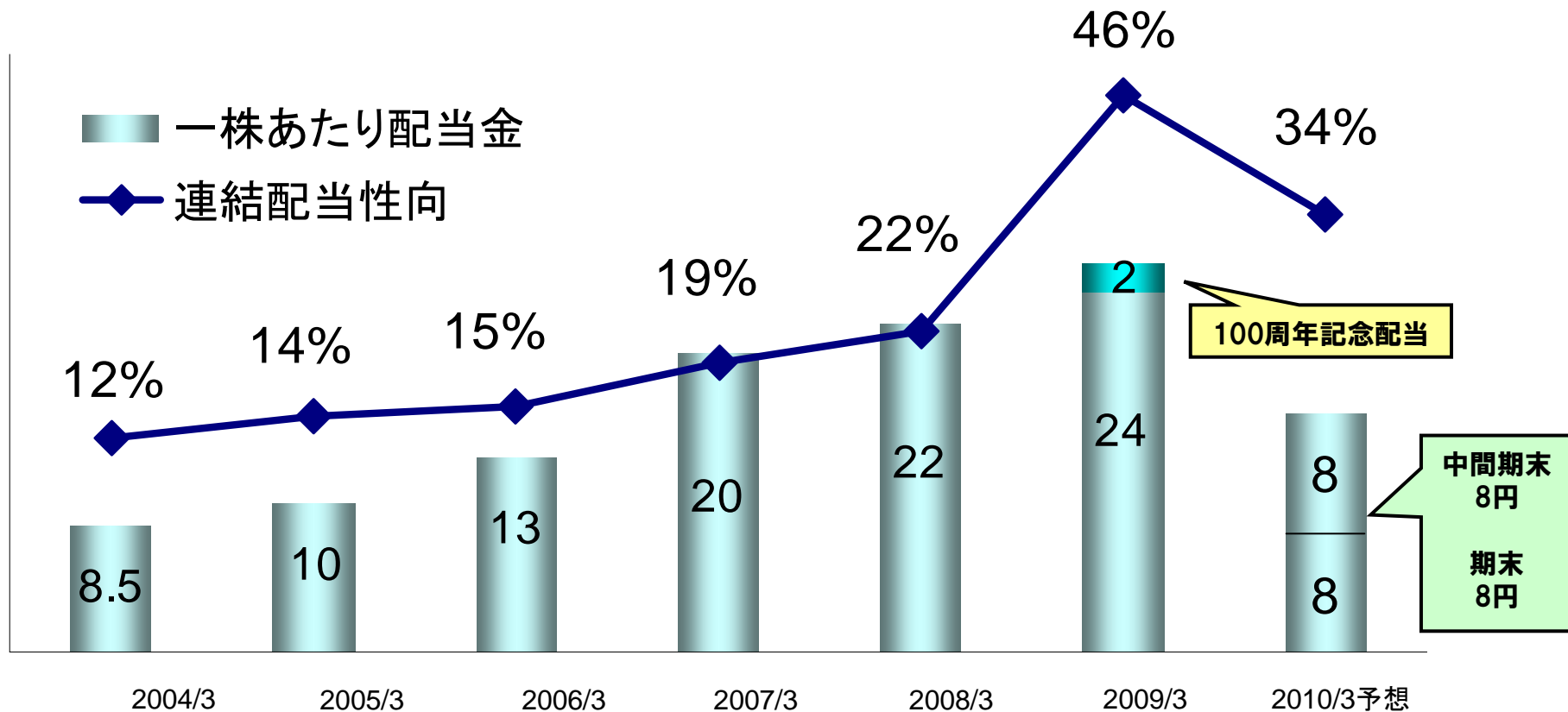


+

次世代コンテンツ配信システム  
「Einy」



## 配当の推移



配当は従来予想から変更なし

# 2010年3月期 第2四半期決算と 通期の見通し

# 1. 連結決算概要

<2010年3月期 第2四半期累計実績>

単位: 億円

	第2四半期 6ヶ月累計			
	2010/3 2Q(累計実績)	2009/3 2Q(累計実績)	増減額	増減率 ( )は為替影響を 除いた増減率
売上高	1,994	2,566	△ 572	△22.3% (△10.8%)
営業利益	100	172	△ 73	△ 42.2%
営業利益率	5.0%	6.7%	△ 1.7%	
営業外損益	34	△ 11	46	
経常利益	134	161	△ 27	△ 16.8%
特別損益	△ 31	3	△ 34	
法人税他	54	46	7	
四半期純利益	49	117	△ 68	△ 58.1%

【参考】第2四半期 3ヶ月間			
2010/3 2Q(3ヶ月実績)	2009/3 2Q(3ヶ月実績)	増減額	増減率 ( )は為替影響を 除いた増減率
1,016	1,305	△ 289	△22.1% (△10.3%)
36	80	△ 44	△ 55.3%
3.5%	6.2%	△ 2.6%	
17	△ 16	32	
53	65	△ 12	△ 18.7%
△ 30	5	△ 35	
8	18	△ 10	
15	53	△ 37	△ 71.1%

単位: 円

換算レート	USD	95.27	105.36	△ 10.09
	EUR	132.73	161.56	△ 28.83

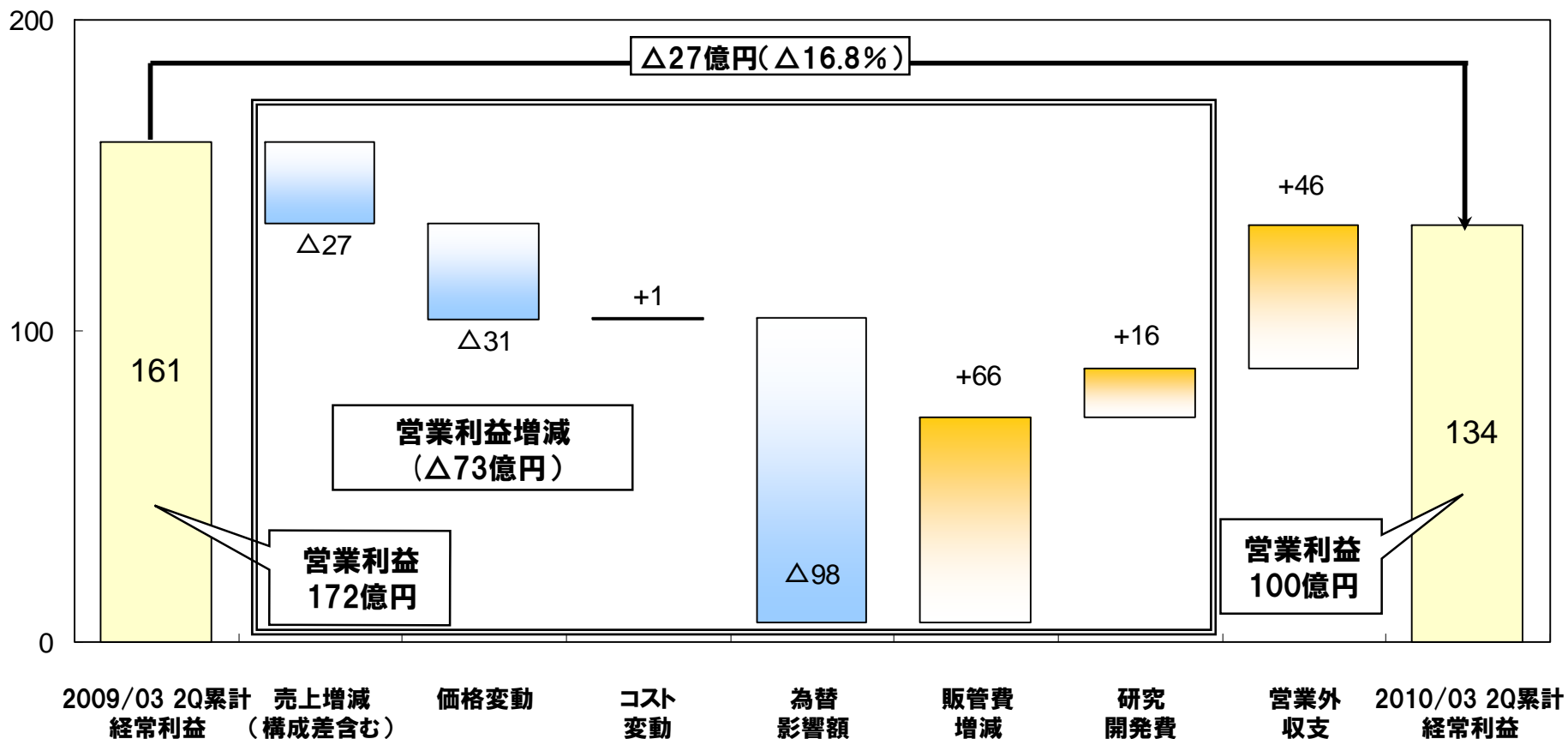
93.61	106.87	△ 13.26
133.61	161.62	△ 28.01

- 売上高は、為替のマイナス影響と、マシナリー事業の不振などにより減収
- 営業利益は、売上構成の変動や経費削減などによる改善があるものの、為替のマイナス影響とマシナリー事業の不振により減益
- 純利益は、営業外の為替差益があるものの、退職給付制度改定に伴う特別損失と税効果会計の影響による法人税等の増加により減益

# 2. 経常利益増減要因

<2010年3月期 第2四半期累計実績>

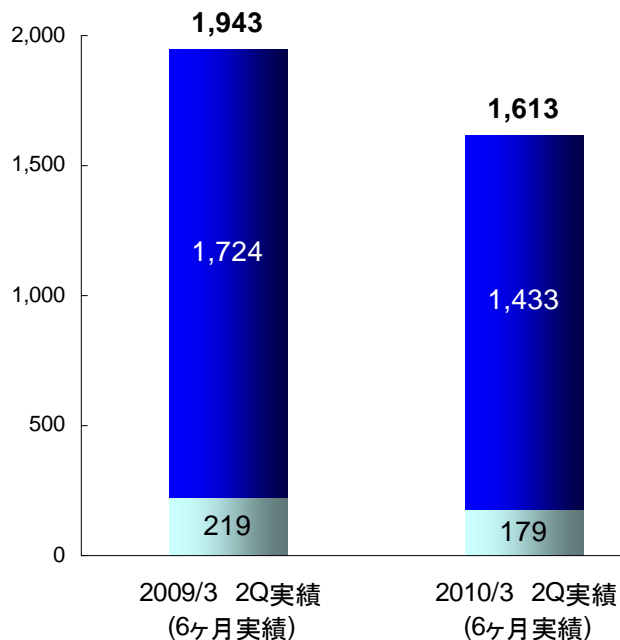
単位:億円



# 3-1. プリンティング&ソリューションズ事業 売上高・営業利益

<2010年3月期 第2四半期累計実績>

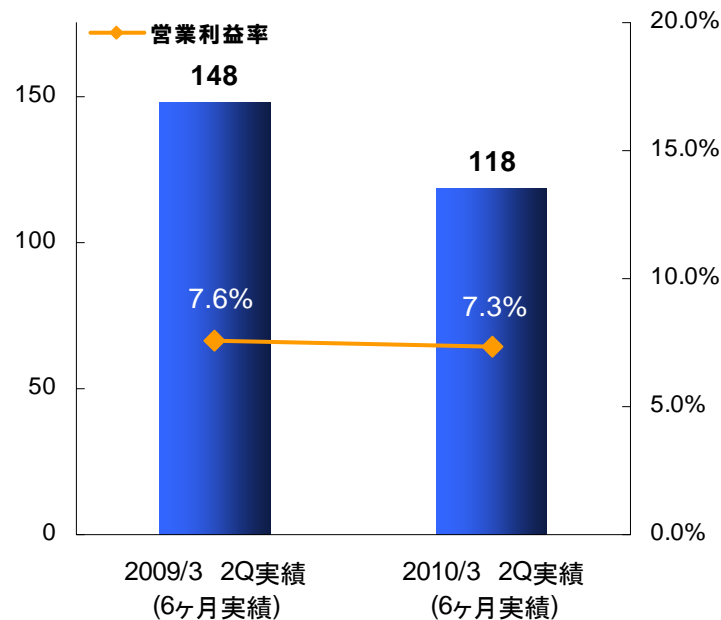
## 売上高 (億円)



増減率(為替影響除く)

<b>合計</b>	△ 17.0% ( △ 3.3%)
<b>通信・プリンティング機器</b>	△ 16.9% ( △ 3.1%)
<b>電子文具</b>	△ 18.2% ( △ 5.4%)

## 営業利益 (億円)



### 通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳(億円)

	2009/3 2Q (累計実績)	2010/3 2Q (累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	620	520	△ 16.2% (△4.8%)
欧州	740	561	△ 24.1% (△5.6%)
アジア他	195	178	△ 8.8% (+6.7%)
日本	169	174	+3.2% (+3.2%)

### 電子文具 地域別売上高内訳(億円)

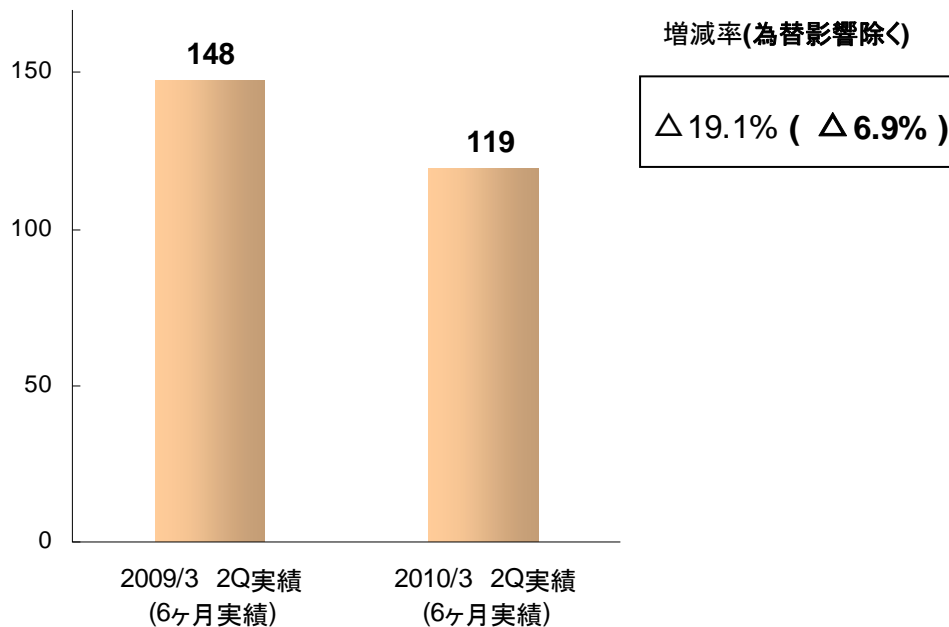
	2009/3 2Q (累計実績)	2010/3 2Q (累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	113	94	△ 16.9% (△5.8%)
欧州	72	55	△ 23.9% (△5.6%)
アジア他	17	15	△ 13.7% (+0.3%)
日本	17	16	△ 7.4% (△7.4%)

- 厳しい市場環境の影響を受け、主に米州・欧州において売上が減少
- 売上構成の変動と経費削減による改善があるものの、為替のマイナス影響により減益

# 3-2. パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益

<2010年3月期 第2四半期累計実績>

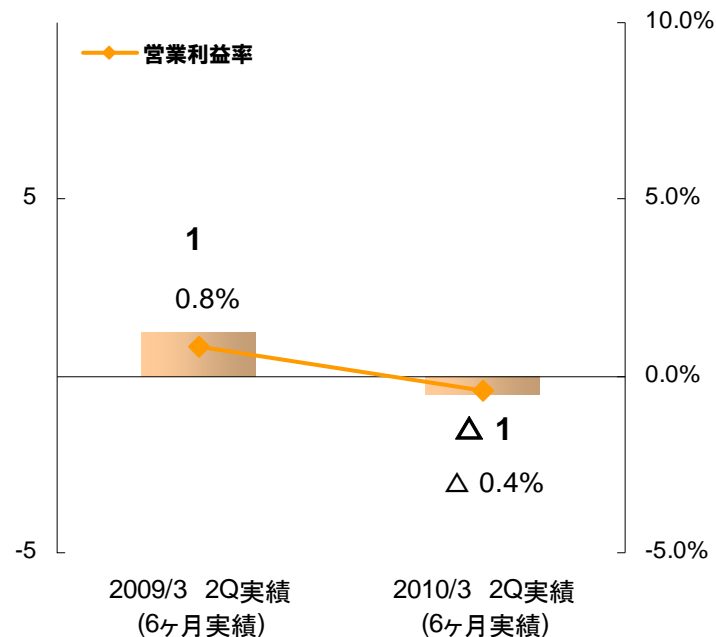
## 売上高 (億円)



### 家庭用ミシン 地域別売上高内訳(億円)

	2009/3 2Q (累計実績)	2010/3 2Q (累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	61	53	△14.5% (△1.0%)
欧州	41	26	△36.1% (△18.1%)
アジア他	14	12	△16.9% (△0.9%)
日本	30	29	△6.5% (△6.5%)

## 営業利益 (億円)

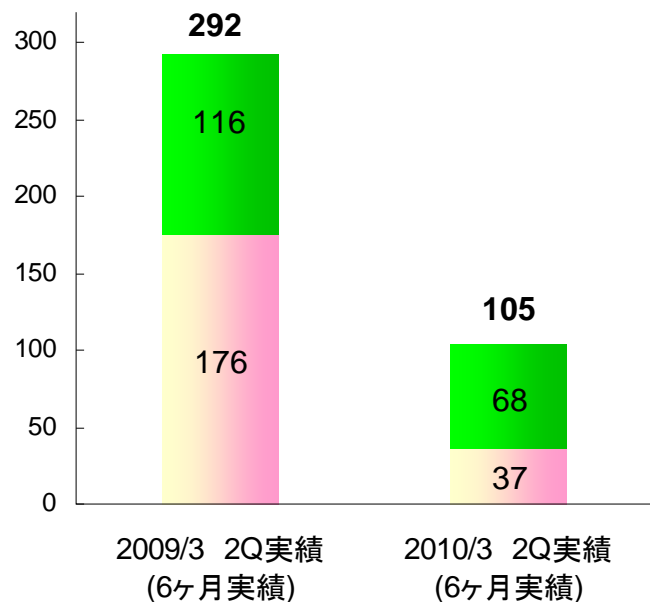


➤ 主に欧州での売上減少と、  
為替のマイナス影響もあり営業損失

# 3-3. マシナリー&ソリューション事業 売上高・営業利益

<2010年3月期 第2四半期累計実績>

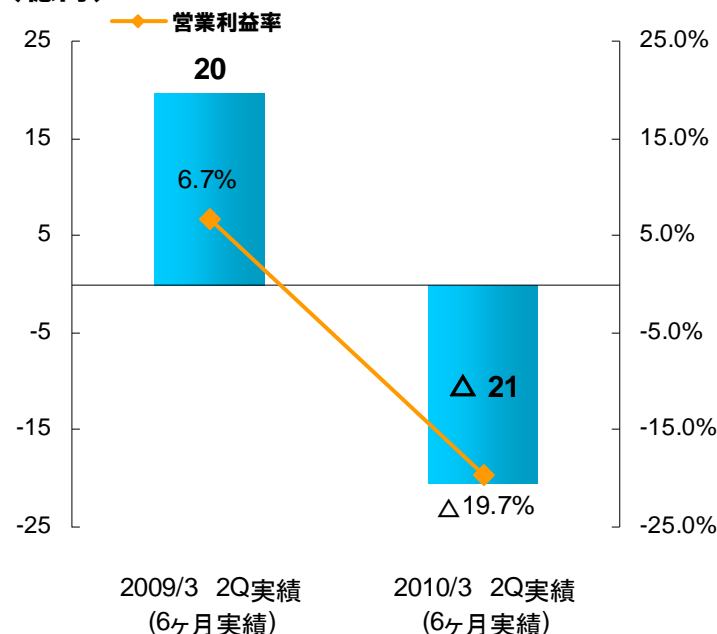
## 売上高 (億円)



増減率(為替影響除く)

<b>合計</b>	△64.2% ( △61.1% )
<b>工業用マシン</b>	△41.7% ( △35.0% )
<b>産業機器</b>	△79.1% ( △78.3% )

## 営業利益 (億円)



### 工業用マシン 地域別売上高内訳(億円)

### 産業機器 地域別売上高内訳(億円)

	2009/3 2Q (累計実績)	2010/3 2Q (累計実績)	増減率(為替影響除く)
米州	26	14	△46.0% (△39.1%)
欧州	16	8	△51.3% (△40.5%)
アジア他	64	42	△33.9% (△27.2%)
日本	10	3	△64.9% (△64.9%)

	2009/3 2Q (累計実績)	2010/3 2Q (累計実績)	増減率
米州	12	1	△92.6%
欧州	11	0	△96.7%
アジア他	122	26	△78.4%
日本	30	9	△69.2%

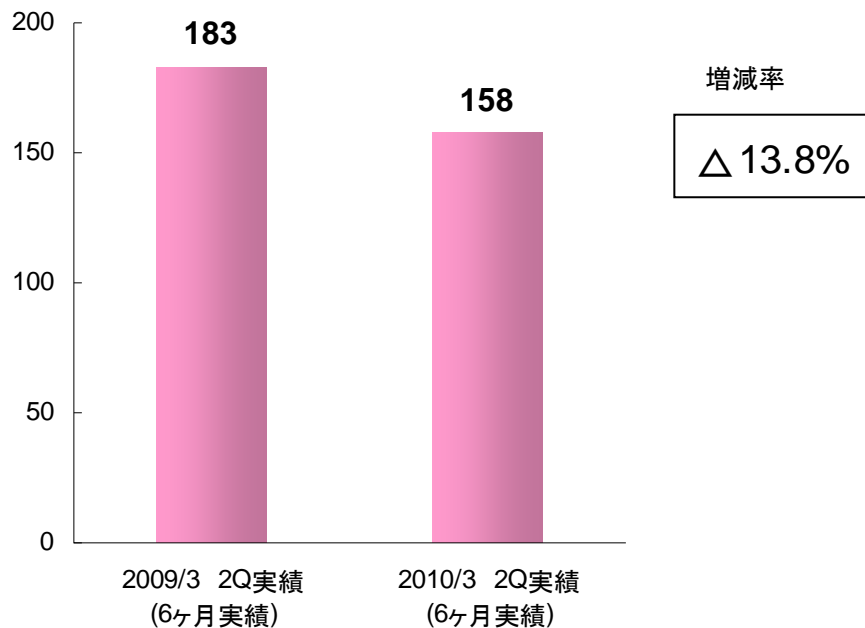
- 昨年後半から続く景気減速により、特に産業機器において売上が大幅に減少
- 経費削減などの利益改善効果があるものの、売上の減少により大幅な減益

※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

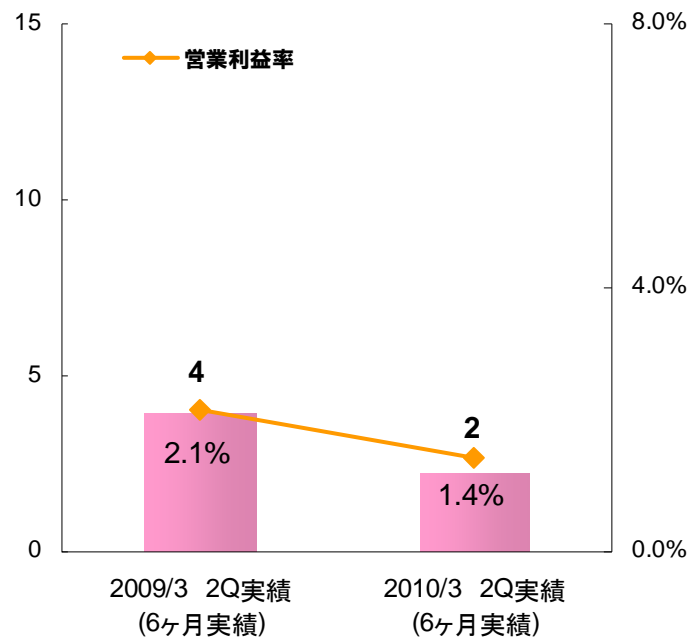
# 3-4. その他事業 売上高・営業利益

<2010年3月期 第2四半期累計実績>

## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



- その他事業全般において売上が減少
- 販管費等の減少による利益改善効果があるものの、売上の減少により減益

※その他事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

# 4. 連結業績予想

<2010年3月期 通期予想>

単位: 億円

	2010/3 予想 (A)	2009/3 実績 (B)	増減額 (A - B)	増減率 ( )は為替影響を 除いた増減率 (A/B - 1)	2010/3 前回予想 (C)	増減率 (A/C - 1)
売上高	4,300	4,822	△ 522	△ 10.8% (△ 4.3%)	4,250	1.2%
営業利益	180	199	△ 19	△ 9.6%	130	38.5%
営業利益率	4.2%	4.1%	0.1%		3.1%	
営業外損益	30	57	△ 27		70	
経常利益	210	256	△ 46	△ 17.8%	200	5.0%
特別損益	△ 20	△ 19	△ 1		△ 16	
法人税他	65	84	△ 19		59	
当期純利益	125	153	△ 28	△ 18.1%	125	-

単位: 円

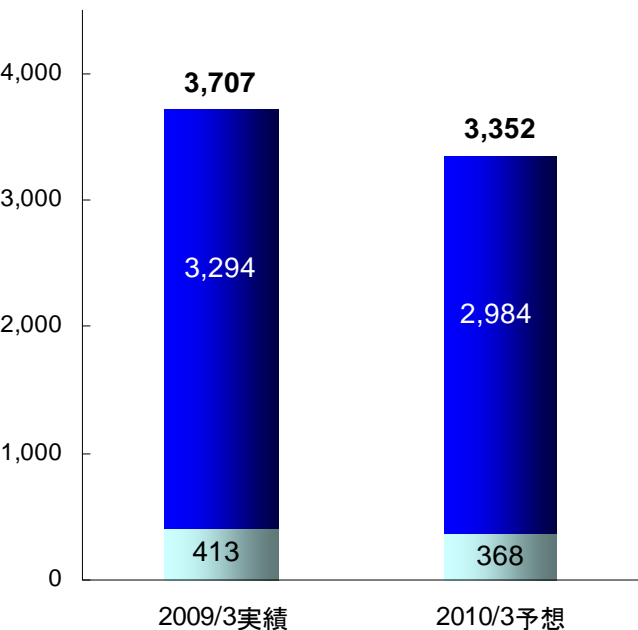
換算レート	USD	93.00	100.62	△ 7.62	93.00
	EUR	132.00	144.43	△ 12.43	125.00

- 売上高は、為替のマイナス影響と、マシナリー事業の不振などにより減収の見込み
- 営業利益は、売上構成の変動に加えて、コストダウンおよび経費削減などによる改善が見込まれるものの、為替のマイナス影響とマシナリー事業の不振により減益の見込み
- 為替のヘッジ効果による営業外の為替差益は、前年に対して減少する見込み

# 4-1. プリンティング&ソリューションズ事業 売上高・営業利益

<2010年3月期 通期予想>

## 売上高 (億円)



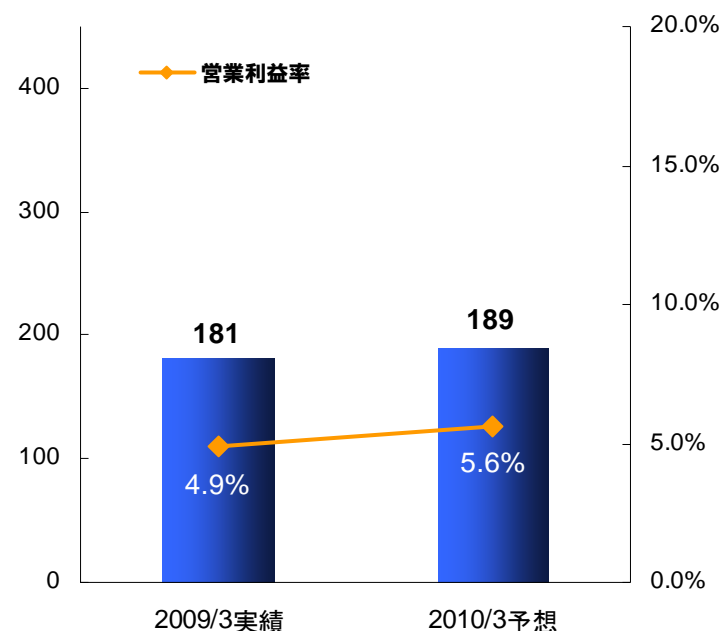
増減率(為替影響除く)

合計  
△9.6% ( △2.1%)

■ 通信・プリンティング機器  
△9.4% ( △2.0%)

■ 電子文具  
△10.9% ( △3.4%)

## 営業利益 (億円)



### 通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳(億円)

	2009/3実績	2010/3予想	増減率(為替影響除く)
米州	1,182	1,033	△12.6% (△4.5%)
欧州	1,421	1,224	△13.9% (△5.1%)
アジア他	343	355	+3.6% (+10.9%)
日本	348	372	+6.9% (+6.9%)

### 電子文具 地域別売上高内訳(億円)

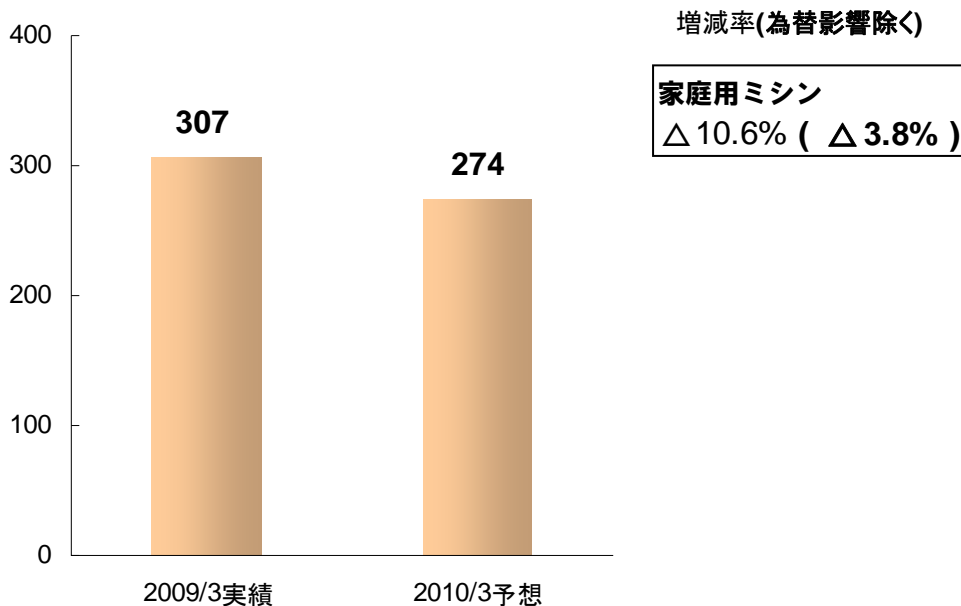
	2009/3実績	2010/3予想	増減率(為替影響除く)
米州	213	187	△12.0% (△3.9%)
欧州	134	118	△11.6% (△2.7%)
アジア他	32	31	△2.6% (+3.1%)
日本	35	32	△8.6% (△8.6%)

- 米州・欧州において減収の見込み
- 為替のマイナス影響があるものの、売上構成の変動や経費削減などにより前年並みの利益を見込む

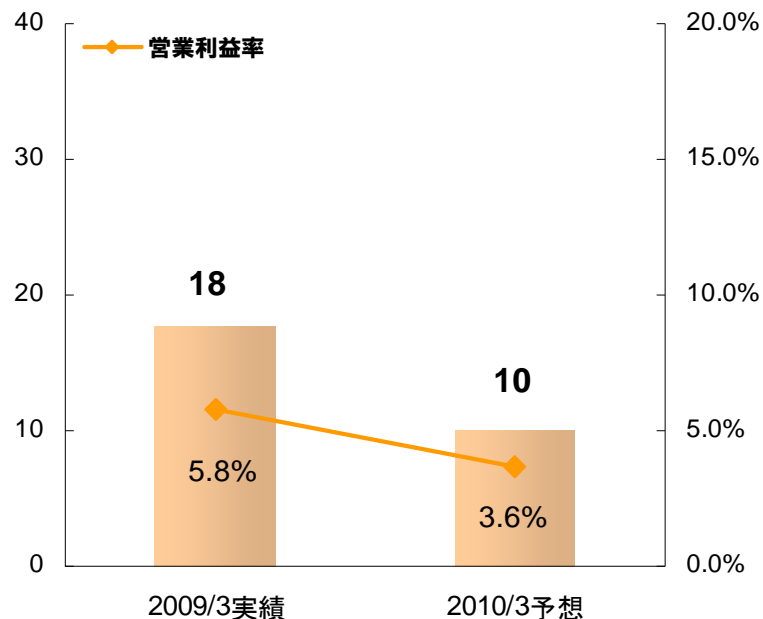
# 4-2. パーソナル&ホーム事業 売上高・営業利益

<2010年3月期 通期予想>

## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)



### 家庭用ミシン 地域別売上高内訳 (億円)

	2009/3 実績	2010/3 予想	増減率(為替影響除く)
米州	136	126	△7.6% (+1.3%)
欧州	79	60	△24.4% (△15.3%)
アジア他	27	24	△12.0% (△6.3%)
日本	64	64	+0.6% (+0.6%)

➤ 為替のマイナス影響に加え、主に欧州での減収と売上構成の変動により減益見込み

# 4-3. マシナリー&ソリューション事業 売上高・営業利益

<2010年3月期 通期予想>

## 売上高

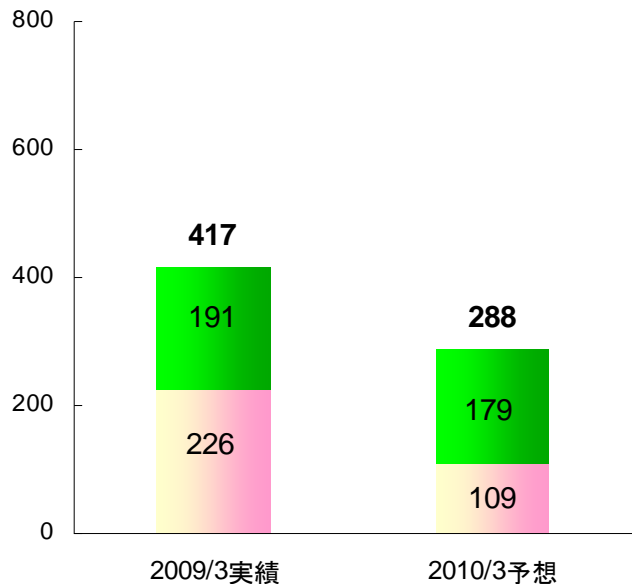
(億円)

増減率(為替影響除く)

合計  
△ 30.9% ( △ 27.3% )

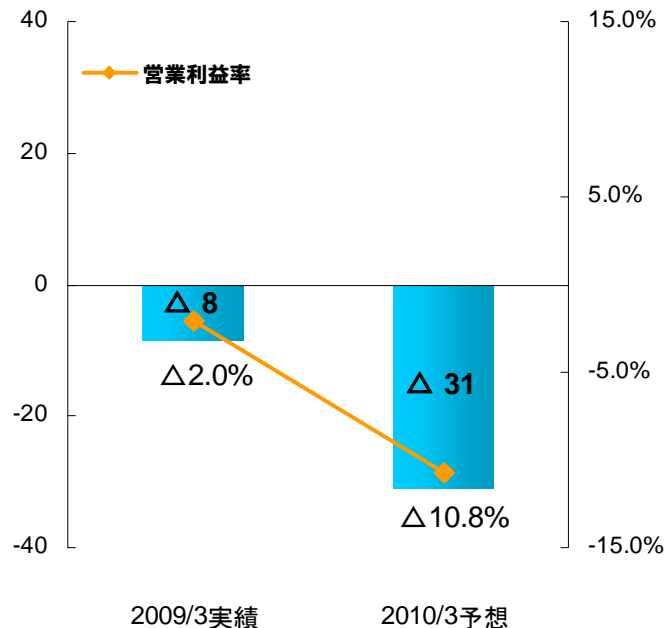
■ 工業用マシン  
△ 6.3% ( +0.4% )

■ 産業機器  
△ 51.7% ( △ 50.7% )



## 営業利益

(億円)



### 工業用マシン

地域別売上高内訳(億円)

### 産業機器

地域別売上高内訳(億円)

	2009/3実績	2010/3予想	増減率(為替影響除く)
米州	43	32	△25.4% (△19.0%)
欧州	26	22	△14.7% (△9.1%)
アジア他	107	118	+10.0% (+18.0%)
日本	15	7	△53.7% (△53.7%)

	2009/3実績	2010/3予想	増減率
米州	19	10	△45.3%
欧州	16	3	△84.2%
アジア他	145	60	△59.0%
日本	45	36	△19.6%

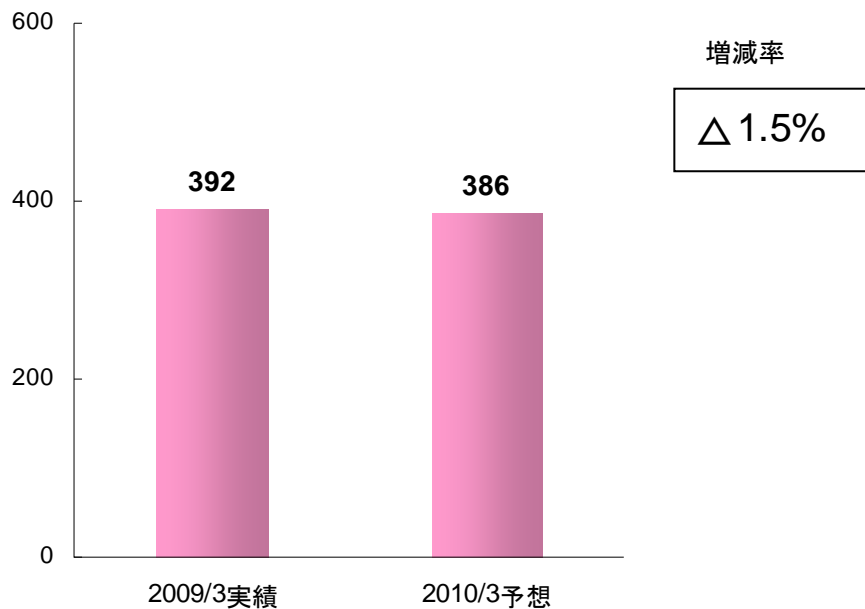
- 工業用マシン事業は、年度後半にかけて若干の回復を見込む
- 産業機器事業は、下期に回復基調が見込まれるが、上期の大幅減収が響き年間でも減収の見込み
- 経費削減などの利益改善効果があるものの、売上減少により減益の見込み

※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

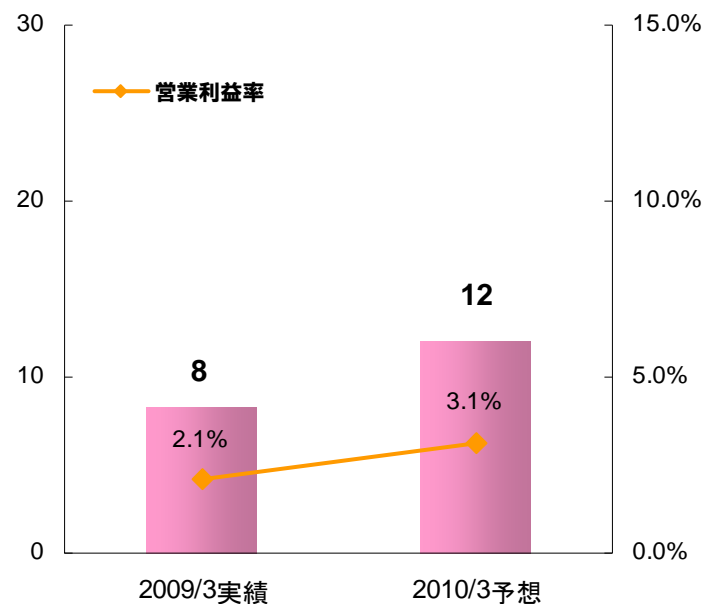
# 4-4. その他事業 売上高・営業利益

<2010年3月期 通期予想>

## 売上高 (億円)



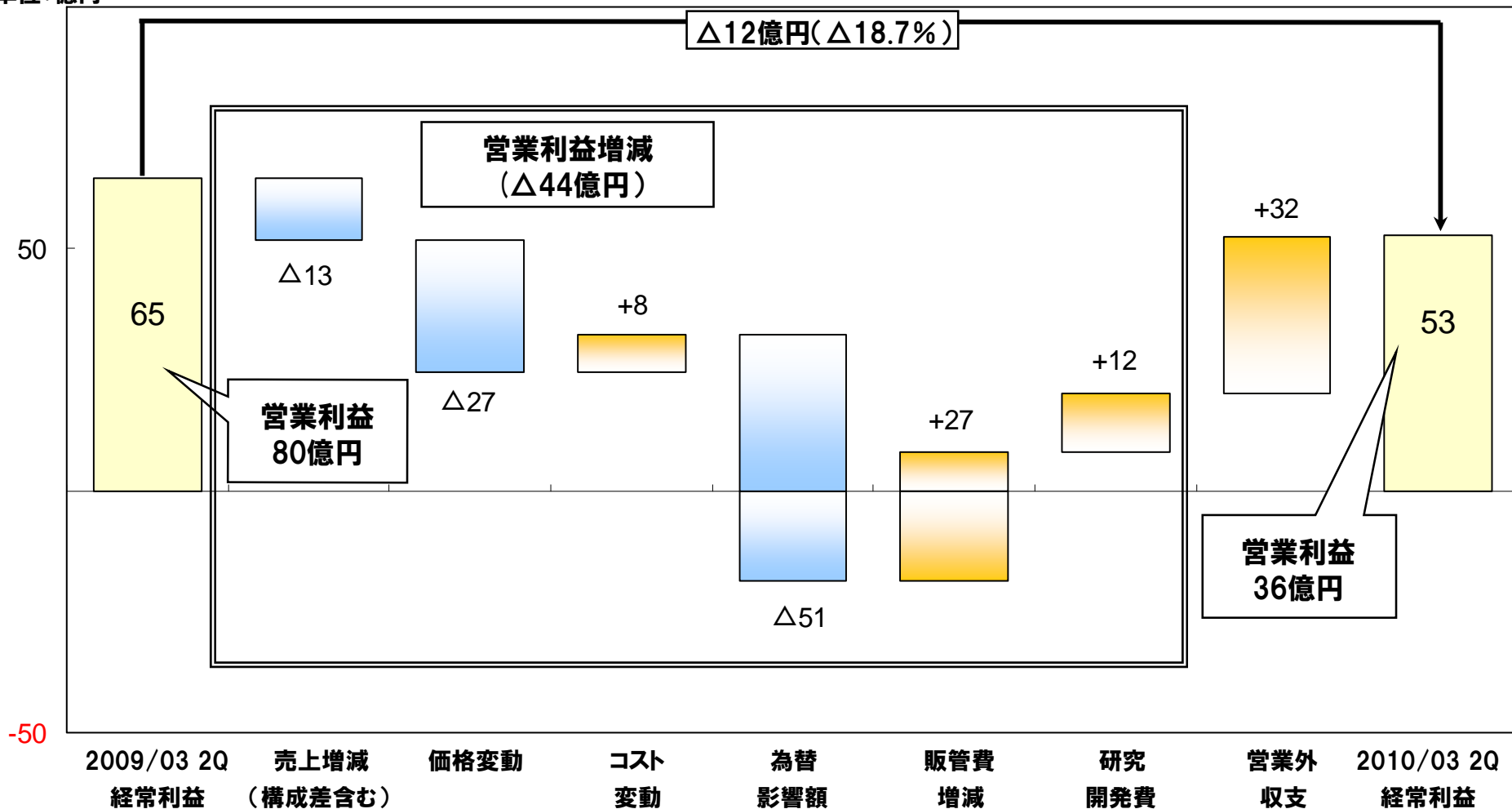
## 営業利益 (億円)



➤ 通信カラオケ・コンテンツ事業で、  
収益構造の改革と、新製品効果により増益を見込む

※その他事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、  
地域別の記載は省略しております。

単位: 億円

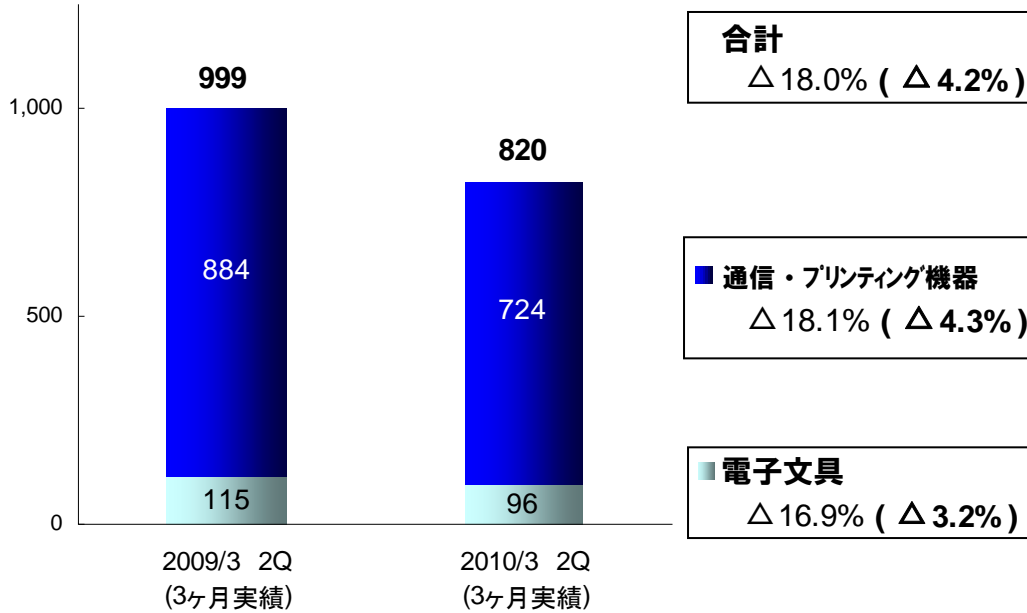


-50

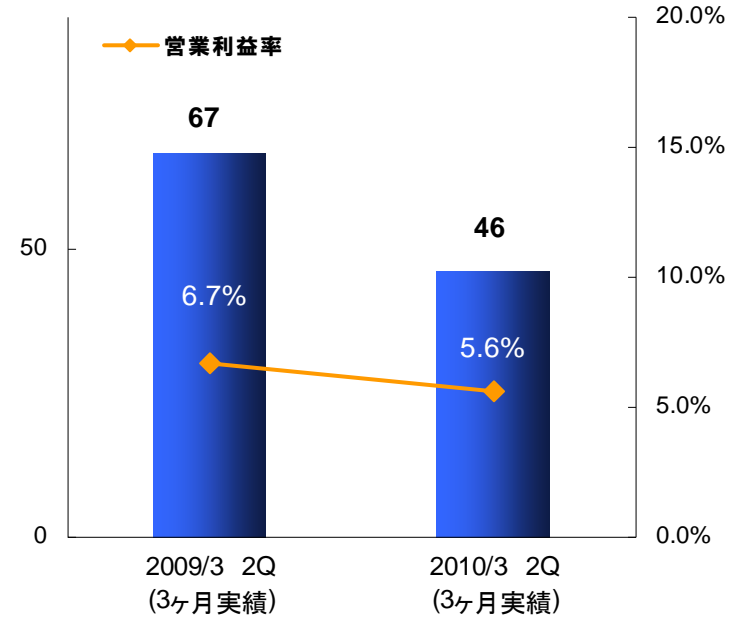
# 【参考資料】プリンティング&ソリューションズ事業

## 売上高・営業利益 <2010年3月期 2Q(7-9月実績)>

### 売上高 (億円)



### 営業利益 (億円)



#### 通信・プリンティング機器 地域別売上高内訳(億円)

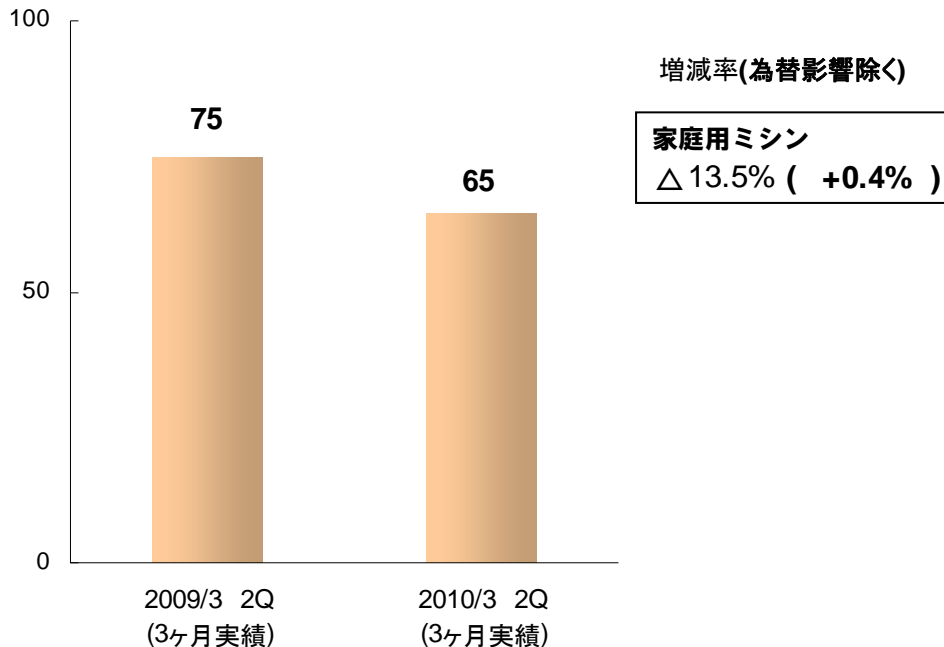
	2009/3 2Q (3ヶ月実績)	2010/3 2Q (3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	323	276	△ 14.7% (△1.0%)
欧州	374	268	△ 28.4% (△11.8%)
アジア他	98	93	△ 4.6% (+11.5%)
日本	89	87	△ 2.1% (△2.1%)

#### 電子文具 地域別売上高内訳(億円)

	2009/3 2Q (3ヶ月実績)	2010/3 2Q (3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	60	50	△ 15.6% (△2.2%)
欧州	36	29	△ 20.0% (△1.8%)
アジア他	9	8	△ 14.7% (△0.3%)
日本	11	9	△ 15.9% (△15.9%)

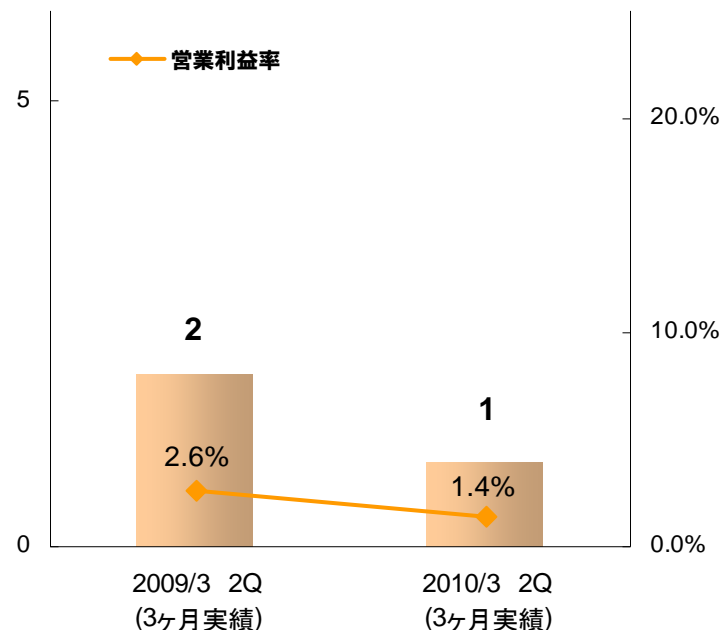
## 売上高

(億円)



## 営業利益

(億円)



### 家庭用ミシン

地域別売上高内訳 (億円)

	2009/3 2Q (3ヶ月実績)	2010/3 2Q (3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	34	29	△12.5% (+3.0%)
欧州	20	15	△26.9% (△7.0%)
アジア他	7	7	△10.0% (+6.3%)
日本	14	14	+1.8% (+1.8%)

### 売上高

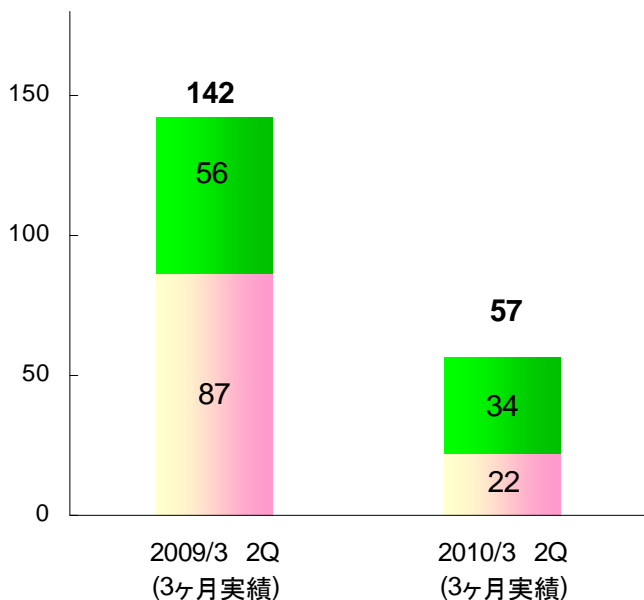
(億円)

増減率(為替影響除く)

**合計**  
△60.3% ( △56.1%)

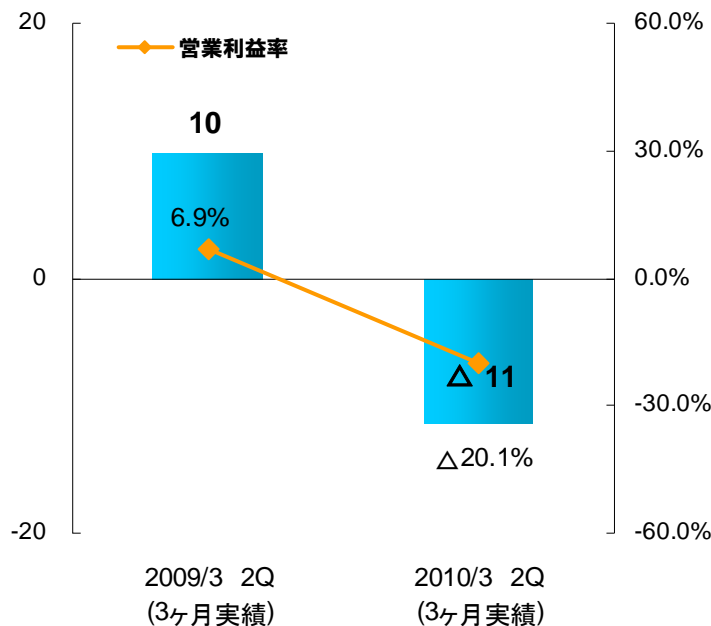
**工業用マシン**  
△38.4% ( △29.6%)

**産業機器**  
△74.3% ( △73.1%)



### 営業利益

(億円)



### 工業用マシン

地域別売上高内訳(億円)

	2009/3 2Q (3ヶ月実績)	2010/3 2Q (3ヶ月実績)	増減率(為替影響除く)
米州	13	8	△42.6% (△33.7%)
欧州	7	4	△50.9% (△40.6%)
アジア他	31	21	△30.2% (△20.4%)
日本	5	2	△61.5% (△61.5%)

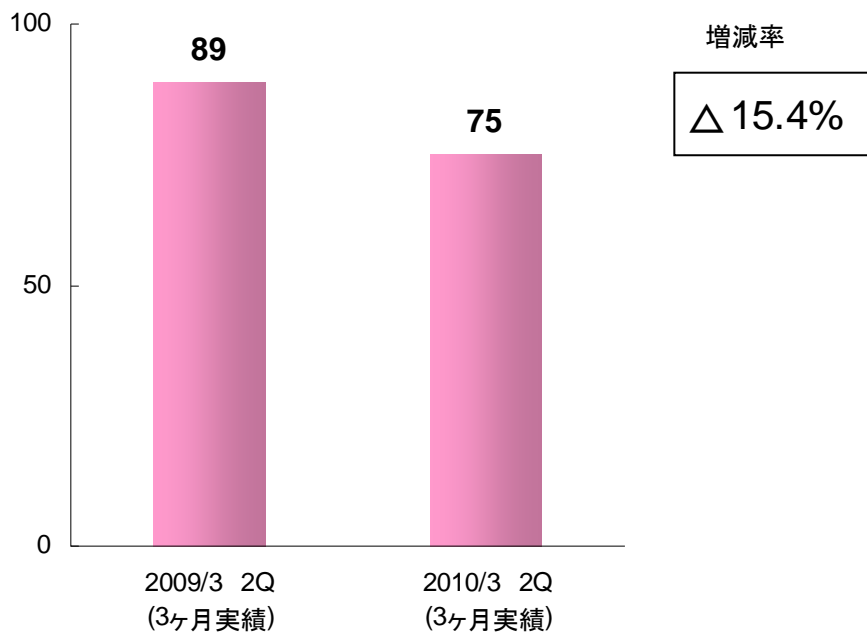
### 産業機器

地域別売上高内訳(億円)

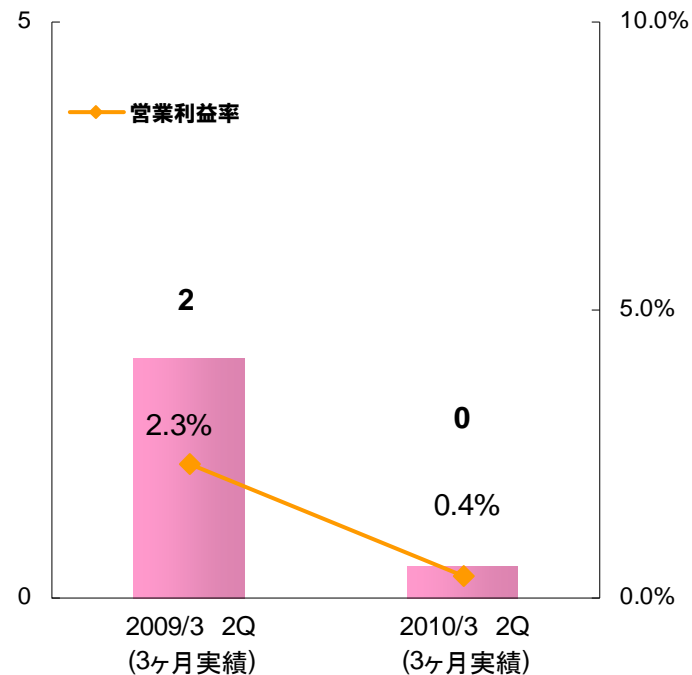
	2009/3 2Q (3ヶ月実績)	2010/3 2Q (3ヶ月実績)	増減率
米州	6	1	△89.2%
欧州	5	0	△94.1%
アジア他	60	15	△74.8%
日本	15	6	△59.7%

※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

## 売上高 (億円)



## 営業利益 (億円)

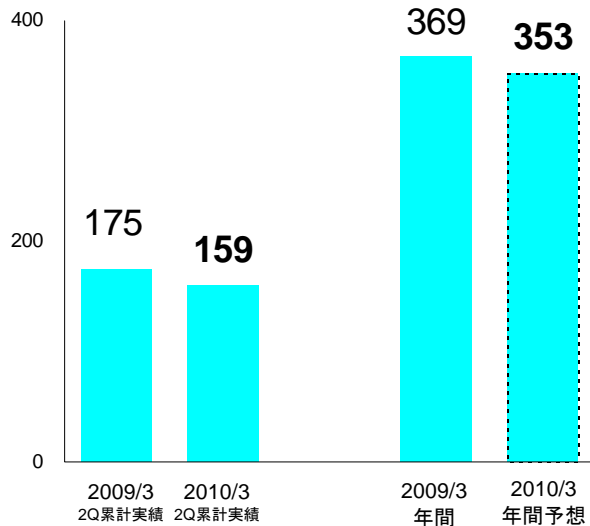


※その他事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

【参考資料】研究開発費・設備投資・減価償却費・棚卸資産

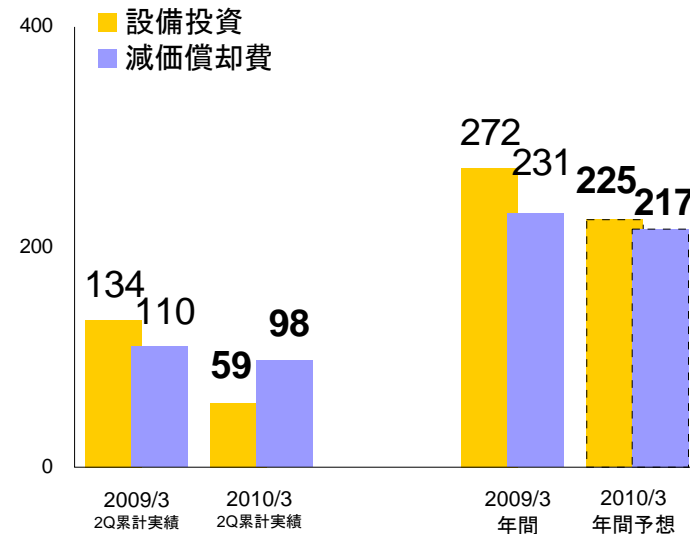
研究開発費

(億円)



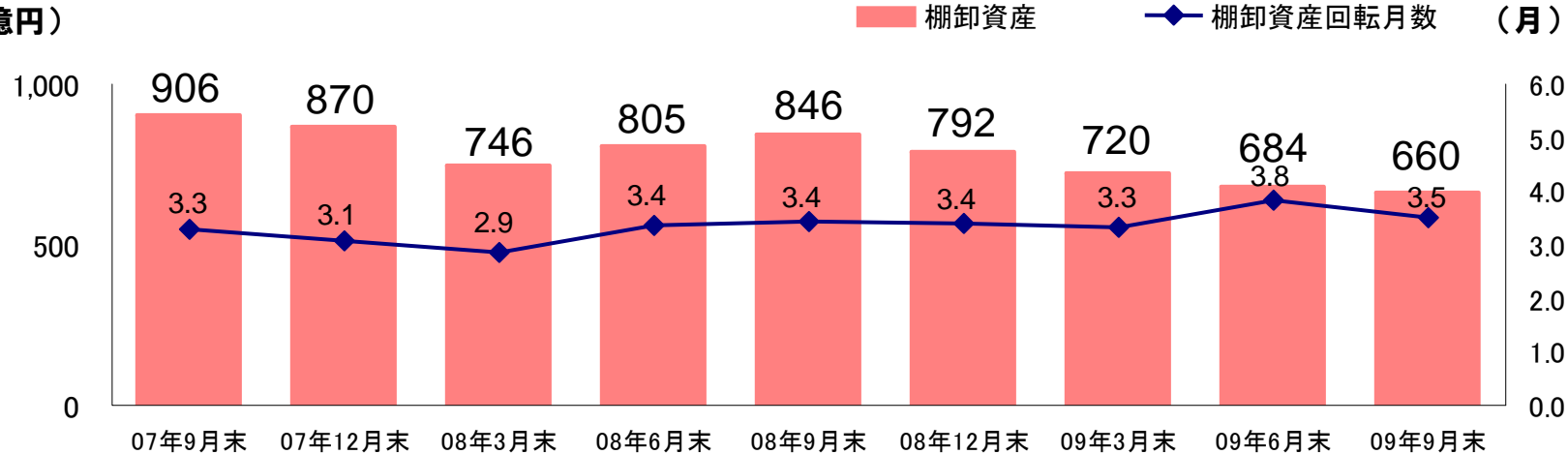
設備投資・減価償却費

(億円)



棚卸資産

(億円)



※棚卸資産回転月数=棚卸資産÷(1ヶ月平均売上原価)

**brother**  
at your side